

今していることに最良の結果を出すためには どうしたら良いのか、を考えて行動する

日本システムランド株式会社 **岡部 浩一さん** (経済学部2007年度卒業)

現在の仕事の内容

日本システムランド株式会社に勤務しています。金融・証券を中心とした独立系のソフトウェア開発会社です。社員は80名程で、ほとんどの社員が開発部の所属です。私は管理部に所属しています。管理部は、私を含めて3名。何でも屋の部署なので、経理・労務・人事・庶務など業務内容は幅広いです。今は、主に取引先と交わす書類発行、経営や会議に関わる資料作成、労働衛生に関する業務、経理処理、来客応対などを行っています。

仕事の魅力

管理部は経営者に近い所にあります。経営者がそばにすることで、企業経営のバランス感覚、その難しさを肌で感じます。会社として利益を出すことはもちろん大事なことです。会社が継続していくために財務内容を管理することの重要性を改めて認識しました。そんな環境の下、毎日いろいろな刺激を受けながら会社を支える仕事をしています。



今後の目標

何でも屋として、まだまだ足りないことが山ほどあります。もっと幅広く業務をカバーできるように、業務に関する知識の向上や資格の取得を目指したいです。

学生生活

入学後、たまたま入った駿輝祭の実行委員会。きっかけは、些細なものですが、そこで多くの出会いと様々な経験がありました。それが私にとってその後の学生生活を定める大きな分岐点でした。今しかできないことをやりたい、せつかくならば良いものにしよう、という思いが強くなりました。



た。そこから、人間活性化プロジェクト、オープンキャンパススタッフ、アートフェス、オーバーナイトウォークなど積極的に大学の活動に参加をしました。

2度とない、その行事ごとの、それぞれの場面で、より良い結果にするにはどうすればよいか、また困難をどう打開するかを考え、行動してきました。まさに一期一会です。そういった過程を経てきたからこそ、大きな喜びや新たな発見がありました。また、それらが自分の成長につながったと思います。充実した4年間でした。

同窓会活動

卒業してからも、駿河台大学の同窓会役員として活動を行っています。先日、大学の授業「経済Today」で、講師として今の仕事や大学時代のこと、在学生に伝えたいことをお話しする機会をいただきました。その最後に、「今、身につけてほしい“3つのT”」ということを話しました。

1つ目は、「Think：考えること」。物事の本質を考える、目標達成する為の段取りや手順を考える。一つの方向からではなく、違った角度から考えてみる。与えられたことや、言われたからやるのではなく、自分の頭で考えることが重要だと思います。

2つ目は、「Talk：話すこと」。会話する、説明する、意見を言う、議論をする。これらをTalkという単語に詰め込むには無理がありますが、話すという延長線として捉えていただければと思います。説明には十分な理解が、意見や議論には、それに加え自分の考えが重要です。

3つ目は、「Try：試してみる・努力すること」。どんなにいろいろな事を考えても、

実際にやらなければ、意味がありません。まずは、小さな一歩でも前に進むことが重要です。

同窓会の活動に限ったことではありませんが、今後もいろいろな形で、大学に携わっていただければと思っています。

在学生へのメッセージ

「今しか、ここでしか出来ないこと」があるはずです。同じ日は一日としてありません。自分の目標に向かって日々努力している人もいます。しかし、何となく毎日を過ごしているだけでは、もったいないと思います。何かを始めるきっかけなんて、どんな理由だっていいと思います。学内外問わずチャンスは幾らでも転がっています。それを手にするか否かです。誰かが、すべてやってくれるわけではありません。動かなければ何も変わりません。大学生活は、社会に出る前の猶予期間ではなく、自分を成長させる為の貴重な時間だと私は思います。その時間をどうか有意義に過ごしてください。



Profile

■ おかべ こういち

埼玉県飯能市出身。
経済学部2007年度卒業生。